

来週の「売り物記事」はこれ



2020年3月27日号 毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

気が滅入る「コロナブルー」

夕刊特集ワイド 30日(月)

春だというのに、うきうきしません。なんだか気がめいってきます。これは「コロナブルー」でしょうか？ 科学にうとく、世界のリーダーたちのように、新型コロナウイルスに打ち勝つ勇ましさも持ち合わせない還暦記者が、自宅の近所で、郷里の関西で、見たまま、感じたままの「いまの時代の空気感」をつづります。



暖冬だったのはなぜ？

環境面 31日(火)



この冬は記録的な暖冬で、昨年12月～今年2月の平均気温は1898年の統計開始以降で最も高くなりました。また特に北日本と東日本の日本海側で降雪量が少なく、スキー場などで雪不足による深刻な影響が出ました。なぜここまで暖かい冬になったのでしょうか。地球温暖化の影響も含め、専門家に高温の原因などを聞きました。

企業が担う大人のがん教育

くらしナビ面 4月1日(水)

「もし家族ががんになったら」——。国のがん対策推進基本計画に基づき、2021年度からがん教育が中学校で全面的に始まります。国民の2人に1人ががんになるとされていて、子どものころからがんに対する正しい知識を身につけることが求められています。大人へのがん教育を一律に行うのは難しいですが、その役割を担おうとする企業も出始めています。その取り組みを追います。

日銀短観 コロナの影響は

1面など 2日(木)

日銀が1日、3月の企業短期経済観測調査(短観)を発表します。景気が「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した割合を引いた業況判断指数(DI)は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、大企業・製造業で2013年3月以来となるマイナス圏入り、大企業・非製造業でリーマンショック後の〇年3月以来の悪化幅となる見通しです。



精神科病院での身体拘束とは（上）

くらしナビ面 2日（木）

精神科病院でベッドに手足をくくりつけるといった身体拘束の入院患者が増えています。2006年から10年間で1.8倍となり、中には突然死の事例もあり、患者の権利を守る観点から厳しい目が向けられています。増加基調にある現状と、東京都立松沢病院で行われている削減に向けた取り組みを追います。

論点 香川県のゲーム条例

オピニオン面 3日（金）



18歳未満のインターネットやゲームへの依存を防ぐことを目的とした全国初の「ネット・ゲーム依存症対策条例」が18日、香川県議会で可決、成立しました。4月1日に施行されます。折しもの「新型コロナ休校」で、子どもが動画視聴やゲームに費やす時間が増えたと気をもむ家庭も多いのではないのでしょうか。議論百出のこの条例、効果やいかに？

野菜の皮や芯も美味しく食べるレシピ

くらしナビ面 4日（土）



まだ食べられる食材や料理を無駄にしてしまう「食品ロス」には、料理する時に捨てられる野菜の皮や芯も含まれます。「もったいない」と感じながらも、減らすのは難しいと思っている人が多いのではないのでしょうか。ごみを減らすためではなく、おいしさを生かすアイデアを、料理研究家の林幸子さんに紹介してもらいます。

「人生100年クラブ」スタート

くらしナビ面 5日（日）から

国内で百寿を超える人が7万人に達する中、シニアライフを充実させるヒントを集めた新紙面「人生100年クラブ」が始まりました。5日には毎月第1日曜の連載「新聞紙体操」がスタートします。80歳の現役医師、林泰史・原宿リハビリテーション病院名誉院長が考案し、どれも手軽に取り組める運動です。

※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。